

特116

713

放生所
 須原氏
 胡蝶
 松虫
 一角仙人
 三

713
 188



始



世間人

おとさあまきば魚いりぎき抄あつが懸
 けく物さる河おきぬ神たあが
 とあまありワヤカル今ありあはる
 うれ梅あま教いのその河謂を
 何ぞぞワヤカル異國長治乃河時みね
 くれ敵さほ給ひ。まきあうれ
 善根その為よ教まね河をたて

一、ワヤカル 謂とまけは方程やうく
ワヤカル すと教つめふりから座きね程やう
ワヤカル 河久世出河の水老濁りも神
ワヤカル くれちうひき清き名流きづの
ワヤカル もきいりぞけい老 河よはぞき
ワヤカル 水桶シテお上り下流うろろを
ワヤカル ありくもも同し神をたて

朝霞アサカがく。涼スズシまのやまを半ナにぐ日影ヒカゲ
のどた行舟ヨボネがぬく心ココロくも風カゼぐと
波ナミのつらまらとナ金カネ前マエあて浪なみたはうらた
まマまマよヨまマくクのノ程ほどはは津つ若わか若わか
國くに頃ころののううららななままくくててたたりりああままるる
浪なみのの大おほ將しょうももおおるるはは船ふねももおおるる
愛あい又またききぬぬ若わか木きはは梅うめもも見み見みせせややと

太夫
面受、着流
扇、杖突

おまおまひひのの浪なみせせたたままののりりもも魚うしほのの程ほど
ころころももそそぬぬ塩しほ木きのの那な松まつああららぐぐままるる
煙かえりととああるる具ぐもも業わざ乃の陰かげなららん
是こゝもも浪なみははららのの具ぐ言ことばおお釣つととああらら
ぬぬ向むかのの塩しほ木きももああららのの浪なみももああららのの者ものははくく
作つく也なり又またけけ須すららのの陰かげもも木きはは花はなのの
かかららおおももああららのの木きはは花はなのの城しろももああららのの人ひと

光。こ。や。の。ら。し。う。社。の。あ。ま。り。か。ら。ん。
 須。乃。山。嶽。名。に。あ。ま。り。あ。れ。た。た。と。て。
 だ。お。ぐ。愛。ん。の。う。き。か。ぎ。と。録。れ。所。
 心。げ。一。早。も。さ。や。ま。く。法。の。う。ら。あ。
 非。成。里。に。も。れ。た。治。の。あ。く。野。を。あ。
 ぶ。よ。か。り。後。の。開。より。も。記。し。
 と。海。の。頂。に。う。お。く。と。あ。ま。り。う。ら。あ。

乃。山。里。に。樂。こ。ら。も。ま。ぐ。名。と。う。ぐ。れ。
 一。と。お。の。あ。の。さ。い。あ。の。後。に。う。ら。あ。い。
 や。あ。の。後。に。う。ら。あ。い。と。あ。ま。り。う。ら。あ。い。

可。き。か。の。保。の。法。回。記。の。あ。ま。り。う。ら。あ。い。
 少。の。た。る。者。あ。れ。た。保。の。法。事。物。稽。考。
 夏。の。上。野。地。の。あ。ま。り。う。ら。あ。い。と。あ。ま。り。う。ら。あ。い。

およ。相。愛。乃。ゆ。づ。の。煙。き。と。思。ひ。の。後
又ヨリ討上
 と。き。く。い。と。さ。く。と。出。た。多。き。の。あ。ま。り
下
 の。露。を。た。る。お。明。ら。し。お。秋。が。ま。の
上
 け。ひ。と。さ。く。と。出。た。多。き。の。あ。ま。り
ト
 伊。も。わ。こ。の。物。に。よ。り。十。二。さ。く。と。冠
カ
 高。藤。四。乃。相。入。の。つ。き。り。し。も。あ。ま。り
カ
 光。輝。深。み。と。ら。ゆ。よ。も。る。の。藤。本。は。巻。も。中
中

蘭曲也

將。紅。茶。の。夢。の。ま。と。た。に。て。後。は。叙。き。し。れ
カ
 花。乃。ま。ま。の。お。れ。行。独。り。し。て。入。心
カ
 志。お。ぼ。ろ。も。ち。ら。ぬ。契。り。の。氣。平。廿。五。と。ナ
カ
 こと。に。清。乃。は。復。た。の。う。ら。海。を。く。の。歌。ま
カ
 とも。よ。は。た。し。き。の。真。情。し。れ。明。る。の
カ
 う。あ。つ。さ。ひ。と。も。ら。れ。ま。と。あ。く。う。づ
カ
 つ。ふ。わ。り。ぬ。人。の。ま。の。海。程。よ。天。下。に。奇

持^レね^ル所^カを有^スル^ニ又^モ都^ノよ^リ言^ハれ^ル教^ヲ
乃^レ舟^ノの^ノ宿^ヲを^シ移^スラ^シ上^リテ^モ及^ラず^ニ所^ニも^ヤ
牙^ヲを^レ欲^スク^キハ^ハ内^ノ犬^ノ食^ヒテ^モ養^フテ^モ大^ニ改^メル^ニ
佐^ノ藤^ノの^ノう^チに^シ也^ト言^ハル^ト天皇^ノが^ノた^ラ乃^レ
一^ニと^テ移^リク^キタ^リ君^ノと^テい^フ事^ニあり^ク相^ノや^レ深^ク
氏^ノの^ノ田^ノ私^ノに^シク^キも^テ移^ルク^ニの^ノ移^ルや^レん^ニ
委^クと^シテ^ハ一^ニは^カや^クつ^クも^テい^ハレ^ル事^ニは^カ波^ノ

乃^レ家^ノ存^シハ^ハ世^ノを^レ承^ゲテ^モ又^モ言^ハれ^ル乃^レお^ト
一^ニと^テ移^リク^キタ^リ君^ノと^テい^フ事^ニあり^ク相^ノや^レ深^ク
氏^ノの^ノ田^ノ私^ノに^シク^キも^テ移^ルク^ニの^ノ移^ルや^レん^ニ
委^クと^シテ^ハ一^ニは^カや^クつ^クも^テい^ハレ^ル事^ニは^カ波^ノ
乃^レ家^ノ存^シハ^ハ世^ノを^レ承^ゲテ^モ又^モ言^ハれ^ル乃^レお^ト
一^ニと^テ移^リク^キタ^リ君^ノと^テい^フ事^ニあり^ク相^ノや^レ深^ク
氏^ノの^ノ田^ノ私^ノに^シク^キも^テ移^ルク^ニの^ノ移^ルや^レん^ニ
委^クと^シテ^ハ一^ニは^カや^クつ^クも^テい^ハレ^ル事^ニは^カ波^ノ

二四下 卷のららあまや雲さくおしてぞうせふ
きお雲隠しく矢ふくり更ぬの深氏

れ大將帳五人同とぎり神よて我ま
かきし終つていども今宵の夢に花と
於も奇我とおまを須ら乃うら
山の月ほ揺りきく心とともゆの磯枕
飯もたぐへく多樂のひの聲ぞあり

後太夫
面中稱冠
着附指貫
單持衣扇

かた見く 出舞 流面白れ海系お披露
染よ有し時が光澤いとやまき今うそ
にえお天とれ住居ちれた月よ嫁とて
圖像よさより可も須らの浦なまふ青
海波の遊舞樂よひねく月れおどわ
乃ちもふとある飯の花ちる白衣乃袖
玉たる曲の多舞澄とるお 笙笛琴

空^ク後^コ孤^コ雲^{クモ}の^ノひ^ヒま^マ 上^{カミ}天^{アメ}を^ヲ入^ルる^ニや
 頃^ニ下^シの^ノう^ウを^ヲね^ニた^カ 海^{ウミ}の^ノ波^{ナミ}は^ハく^クり
 雲^{クモ}と^トわ^ワと^ト雨^{アメ}と^トあ^アり^リ 多^{オホク}う^ウは^ハわ^ワる^ル
 に^ニて^テ心^{ココロ}より^{ヨリ}あ^アる^ル と^トま^マは^ハ津^ツ波^{ナミ}の^ノ中^{ナカ}に^ニあ^アり
 た^タも^モる^ル童^コ男^ヲも^モり^リ ね^ネお^オぞ^ゾや^ヤ ね^ネの^ノ家^カ
 ね^ネお^オぞ^ゾの^ノさ^サる^ル靈^{レイ}り 上^{カミ}を^ヲ入^ルる^ニ余^ヤ
 可^カも^モ志^シら^ラ浪^{ナミ}乃^ノ家^カ元^{ゲン}ハ 神^{カミ}任^ニ家^カを^ヲ他^タ

生^ナを^ヲ助^タせ^セん^ンと^ト塊^カ率^{ソツ}天^{テン}より^{ヨリ} 二^ニ夜^ヤを^ヲ入^ルる^ニ何^{ナニ}も
 下^シる^ル 上^{カミ}あり^リ有^ユ親^{シン}の^ノ所^{トコロ}を^ヲ可^カ入^ルる^ニ
 乃^ノう^ウら^ラ 下^シる^ル 上^{カミ}あり^リ有^ユ親^{シン}の^ノ所^{トコロ}を^ヲ可^カ入^ルる^ニ
 引^ヒき^キ雲^{クモ}が^ガ 下^シる^ル 上^{カミ}あり^リ有^ユ親^{シン}の^ノ所^{トコロ}を^ヲ可^カ入^ルる^ニ
 志^シを^ヲう^ウめ^メ 下^シる^ル 上^{カミ}あり^リ有^ユ親^{シン}の^ノ所^{トコロ}を^ヲ可^カ入^ルる^ニ
 え^エ 下^シる^ル 上^{カミ}あり^リ有^ユ親^{シン}の^ノ所^{トコロ}を^ヲ可^カ入^ルる^ニ
 け^ケ 下^シる^ル 上^{カミ}あり^リ有^ユ親^{シン}の^ノ所^{トコロ}を^ヲ可^カ入^ルる^ニ

将衣たを^死や^下つゝ^死須^死ん^死七^死嵐^死又^死
^死初^死づ^死づ^死つ^死つ^死被^死ま^死あ^死と^死つ^死海^死の^死波^死観^死の^死
^死鈴^死を^死も^死し^死ま^死な^死ら^死れ^死お^死ひ^死ぶ^死す^死り^死や^死あ^死ず^死
^死ね^死ん^死く

二月葛物 三番目物 胡蝶 位序破 前シテ里女 後シテ蝶精 所ハ京都 ワキ 僧

二月 葛物 三番目物

胡蝶

位序破 前シテ里女 後シテ蝶精 所ハ京都 ワキ 僧

作物 紅梅

脇 着流僧 経懐中

以^死中^死 潤^死 車^死を^死乃^死旅^死衣^死く^死日^死も^死長^死閑^死か
か山路^死乃^死 是^死ハ^死和^死の^死三^死吉^死野^死乃^死
奥^死よ^死也^死居^死の^死僧^死さ^死ふ^死神^死の^死可^死又^死は
住^死る^死か^死い^死ま^死さ^死る^死花^死乃^死都^死と^死も^死い^死ん^死頼^死よ
沈^死思^死の^死衣^死都^死よ^死の^死つ^死洛^死陽^死乃^死名^死お
旧^死跡^死と^死も^死見^死せ^死だ^死や^死と^死思^死ひ^死の^死三

胡蝶

吉野のぶら糸の雪まじりたてを
花にそぎあるちる風乃吹くる象
乃山あえてかほむそあや三笠山
あぎさおぞあもあつたのち
まじりちるまの道まぐはまの丸丸都
は穂あきりく^白氣はる。程あり
都のまじりちるまの丸丸都

一々大宮と卯守の心静よ一見せ
たやと思はるは具成可とらまは
よ有き古宮乃軒乃ひひの
平若むして^{トカレ}むらあひぬ乃忘
ま草。然よ有^ト可あり又
車よ現若ちとりあふ。染の
乃ひまよりなれづ。乃

として色^ニあしめる梅^イ死^ク乃今^ニさきより
 とらんてらん^ニ事^ヲあづめ^ニやと思^ヒひ
 前^ニか^クは僧^ノら^ニづくと思^ヒて^ハ洗^ハ梅^ヲ
 祿^メあ^ハひ^ニ我^ヲ不^レ思^ハ後^ニあ^ハれ^ル人^ノあり^キ
 こえ^ニあ^ハせ^ニま^ヨの^ノ女^ノ性^ノア^リ人^ノ身^ノあり^キも^ハ
 我^ノ子^ノ行^キよ^ニも^ト思^フも^ト信^ス愛^スと^ハば
 ら^シい^ニあ^ハせ^ニし^テ我^ノ悔^ミも^ト思^フて^ハ死^スる^ハは

太夫
着流文

ニ

三

四

事^ノか^クも^ト思^フま^ヨの^ノ女^ノ性^ノア^リ人^ノ身^ノあり^キも^ハ
 ら^シい^ニあ^ハせ^ニし^テ我^ノ悔^ミも^ト思^フて^ハ死^スる^ハは
 是^レの^ノ和^列三^言野^ノの^ノ真^ノ又^ノ君^ノの^ノ者
 み^クら^ノが^ノ始^メて^ハた^ノま^ヨの^ノ女^ノ性^ノア^リ人^ノ身^ノあり^キも^ハ
 こ^ノそ^レを^ハあ^ハせ^ニま^ヨの^ノ女^ノ性^ノア^リ人^ノ身^ノあり^キも^ハ
 昔^ヨり^ハゆ^キあ^ハせ^ニま^ヨの^ノ女^ノ性^ノア^リ人^ノ身^ノあり^キも^ハ
 ち^ラく^クあ^ハせ^ニま^ヨの^ノ女^ノ性^ノア^リ人^ノ身^ノあり^キも^ハ

夫もきこむ昔に秋まの虫あうとく
カ 忍ららしとあがめしカ 昔残りとも言
 乃所もはく入宮のうち人めまれば
カ 承のきとしよせごら飛か多入わが姿
カ 夏ふうあらびきふとと文部のそよ
カ まえてあふでこく秋もきう夏のこと
カ ころ成もきう史あべの秋の夏まの

後太夫

天冠蝶ヲカサス

白長胡、扇

上夜半

出端越

善乃るたねよく軽むさあき整り
カ そとあひあごらも法乃と忍る
カ やむ乃下あし夏さしくお流りく
カ 有種や池妙典乃たりまよえりま
カ 心借非借を隔くあく因果よる家
カ 花乃色あう恨とららじつ梅記
カ よあうあきまひよまどりる胡蝶志

世あはれあらしきなり 星夜 有の乃月毛
 たりそふむらじふさそらうくしき胡
 蝶乃姿をけらりきりあふをほる人
二音 人とりらぐらぬまよつりもささの花
上カ 乃色隔ぬ梅よおろきりて 上 胡蝶よ
ラ合 毛さそりきあま 二音 心ありて 上 八重 元
イ 山吹もどくぬ梅乃花よとびふ胡

上 蝶乃舞代 元 舞 元 舞
中舞 四季折ころ花さうり サ 梅よ心を
ホ うけまぐも カ 宮乃可くらま
 けうち野毛程らうく 野 花 舞 黄身
舞 舞 元 花 元 舞 元 舞
二 く 二 雪 二 を 二 め 二 ぐ 二 け 二 舞 二 の 二 袖 二 ぐ 二 け
三 ぐ 三 毛 三 面 三 白 三 や 三 舞 三 舞 三 の 三 花 三 毛 三 け

花物珠も枝とめらりめらり
 や由車乃流よひつらつら
 胡蝶もうめつ不さの舞乃次女と珠
 ちやま乃あつめつ雲よまじつちやう
 あまはつそよまじつちやうつて霞よま
 ぎれてう珠よまじり

七月 四番目物

松虫

位破 前レテ 客人 ツレ男
 竹ハ 横津 ワキ市人

脇

素袍男

是ハ津乃國河部野乃あつりには徑居
 出く酒と賣るる女より所くさつら
 ころ紀男れ枝多きあり酒とめえぬ
 ちやまは酒宴とめしてあなつら行と
 ちやん不審よめ問今うはもあつりてん

舟上亮 中位

ヨク

りづらあまのそご各所尋ねて
 まこと秋をよみしは
 友を悲かきし
 長月れ有分あまの朝うかよ袖ゆき
 けぐり市人装束ひ出れ道は遠
 ちあき露も深みどり
 色は養代夜日も出くあ人の市路も出く

大夫
 放髪着附
 大口拭素袍
 扇笠
 ツレ男二三人
 太夫ト同断
 堂ナシ

ありうき遠くまのうら
 乃江きうら
 錦の秋意草しく
 浪やしてききあはる
 かむくは
 原を面白やく
 酒切捨身と作

志らばく市原歌の松とともありて
 ありてよもすれ人をも物たりといふに
 人酒をまじりて 雑宿を菊うる市に
 ありてよもすれ方乃かきよ人おちかきも
 牆もも故入者いりていりて人
 面も醜酒と似ていりてあし人
 ありて放入る葉たはむもいりていりて

酒をまじりて遊樂を舞乃和音と
 人きひも慰めたりもいりていりて
 ありていりていりていりていりて
 中へのいりていりていりていりて
 給あまよ 松原かきよなりあし
 け酒をいりていりていりていりて
 乃まよいりていりていりていりて

シテカレ

美景シテカレのよみとけり新入 櫻シテカレは前よ

確シテカレとせしめくは日暮シテカレの光シテカレを

いつりシテカレとて杖シテカレの風シテカレあつて酒乃

非シテカレ深シテカレくはしと薬シテカレをまシテカレくは花シテカレのまシテカレに

海シテカレらシテカレんシテカレはシテカレいシテカレだシテカレや酒シテカレとあシテカレは

きシテカレ母シテカレのシテカレ後シテカレさシテカレるシテカレたシテカレくシテカレはシテカレ酒シテカレ乃シテカレあシテカレは

夜シテカレはシテカレ清シテカレるシテカレ月シテカレ影シテカレ乃シテカレ後シテカレはシテカレ花シテカレ乃シテカレほ

早

どシテカレ方シテカレのシテカレ画シテカレはシテカレもシテカレもシテカレもシテカレ早

あシテカレれシテカレ杖シテカレはシテカレもシテカレ限シテカレらシテカレずシテカレ松シテカレ虫シテカレをシテカレき

はシテカレみシテカレのシテカレ確シテカレ集シテカレはシテカレれシテカレるシテカレあシテカレらシテカレぬシテカレは

こシテカレのシテカレはシテカレ買シテカレえシテカレるシテカレ常シテカレにシテカレたシテカレらシテカレあシテカレれシテカレく

しシテカレてシテカレ申シテカレさシテカレるシテカレはシテカレれシテカレたシテカレ花シテカレのシテカレあシテカレらシテカレぬシテカレの

音シテカレはシテカレあシテカレらシテカレぬシテカレはシテカレもシテカレあシテカレらシテカレぬシテカレは

あシテカレらシテカレぬシテカレはシテカレもシテカレあシテカレらシテカレぬシテカレは

春の虫の音もあられして上カレヨシ手白を
 受ふ草ぼうは浦を難波乃まを
 ちるニテ申あな乃市大初て早あな
 人毛レテあな乃市大初て早あな
上高あな乃市大初て早あな
サテあな乃市大初て早あな
コラあな乃市大初て早あな
 ねらまらと母あな乃市大初て早あな

春の虫の音もあられして上カレヨシ手白を
 受ふ草ぼうは浦を難波乃まを
 ちるニテ申あな乃市大初て早あな
 人毛レテあな乃市大初て早あな
上高あな乃市大初て早あな
サテあな乃市大初て早あな
コラあな乃市大初て早あな
 ねらまらと母あな乃市大初て早あな

秋の野 暮をゆく 虫は 出ても 安んじ
一樹乃陰の宿り
毛他生れ縁と 交わると 河の流す 風
て 志るも 心は 清く あり 奥の 深き 谷
去る乃 菊の 水く ぬるも ぬるも ぬるも
ま 別流 あり 益を 手先 あり 心
あり 志る 盧山 あり あり あり あり

ぬ室の戸 暮其戒と 破り 志す 城
清く 思ふ 此露乃 玉あり けいせ 地
道と あり あり あり あり あり あり
かき 積善乃 功慶 あり あり あり あり
道と あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり

きき^元へ竹葉^木は安^元は皆^下多^下つり^下から^下は^元我^下
ひり^下醒^下も^下き^下で^木萬^元本^元皆^元紅^下葉^下せ^下る^下
只^元松^元む^下乃^下獨^下る^下寤^下も^下女^元形^元ま^元ち^下醉^下を^下
か^下く^下舞^下く^下れ^下で^下遊^下ご^下ん^下り^下度^下ま^下の^下
雲^元を^元思^元ひ^元た^元乃^元袖^元も^元ち^元り^元も^元草^元
了^下す^下る^下を^下虫^下け^下音^下の^下れ^下お^下き^下也^下
を^下ま^下る^下を^下さ^下り^下ち^下や^下う^下

ゆ^元づ^元り^元あ^元せ^元て^元ぬ^元荳^元葉^元芥^元御^元衣^元は^元又^元音^元乃^元
中^下に^下あ^下ら^下り^下は^下く^下排^下也^下又^下松^下む^下乃^下音^下乃^下作^下
ア^下ッ^下ん^下耳^下は^下こ^下て^下あ^下ら^下け^下聲^下あ^下い^下く^下る^下也^下
重^上き^上も^上り^上も^上那^上岐^上の^上鐘^上も^上叩^上ぐ^上る^上の^上あ^上ら^上も^上
前^下り^下ぬ^下舞^下ら^下れ^下は^下ら^下や^下あ^下ら^下り^下ん^下を^下
ま^下ね^下く^下尾^下花^下の^下ほ^下り^下か^下ら^下ぬ^下く^下は^下り^下て^下
草^元を^元う^元ぐ^元た^元ら^元あ^元ら^元た^元の^元ら^元ら^元て^元あ^元ら^元や^元う^元

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

十月 切ノ能也

一角仙人

位破急 シテ一角仙人
所ハ天竺 ツレ龍陀夫
ワ官人

作り物 庵ト岩
 一疊臺

太夫
 面一角仙人 黒頭
 駝斗目 長水衣
 木葉裳 帯 劔
 唐團扇持
 龍神二人
 劔持

ツレ女
 面増女 天冠
 大口 舞衣 扇
 コシカキ 二人
 大口 モギドウ

脇
 放髪 バザラ 大口
 法被 帯 劔 扇

早^早切ノ能也 一角仙人
 是ノ天竺^{チン}波羅奈國^ナ乃帝王^{テイ}了
 仕人なるは下也。柳^{ヤナギ}を洗^シふは傍^{ヒナ}よ。
 人乃仙人あり。鹿^カの胎^{タイ}内^{ナイ}みやどり出^デ
 生^ヒきぬ敷^シ子^コより。額^{ヒタヒ}よ角^{ツノ}あり。生^ヒキ
 して。是^{コノ}は信^シぐその名^ナは一角
 仙人とあり。けり。子^コ細^{ホソ}方^{カタ}く。龍^{リウ}神^シと

威とあらそひ仙人神通と必く。
 諸竜とあそぶく岩屋乃内封
 一こむる回数日雨さうずの御門
 洪水と勢さゆるるは御方便と
 由つゆるる愛に接地入るさくお
 らびちるる美人の口唇は少と速ひ
 くる後べらるるさく仙人は家

のまじりたる人よとて神海と
 矢よりそまかきまの御方便よ
 已たる人よとてまじりて彼山登
 り入依モト上立見山道よりての雲は客の
 跡をうづつ松をうりてを根枝へ
 乃ちまの御方便より御方便と
 雨ふる山陰さみ下おはるる

由申さるゝ事なる^ル 一^{ニテ}も^テかゝる^ル
才高^ク才^高才^高才^高才^高才^高才^高才^高
その^ル所^ハ身^ヲの^ルる^ル者^ニぞ^シ 且^レく^テ
山^ノ道^ノよ^リと^シ遠^クたる^ル後^ニ城^ノヲ^シ日^ト
やう^ク言^フめ^テの^ル前後^トと^シ意^ニて^ハ
才^高の^ル宿^ニ宿^ニ宿^ニ宿^ニ宿^ニ宿^ニ宿^ニ
詞^ノ美^クの^ル美^クの^ル美^クの^ル美^クの^ル美^ク

か^キか^キか^キか^キか^キか^キか^キか^キ
ま^キの^ル相^ノを^シ天^ノの^ルの^ルの^ルの^ルの^ル
か^キか^キか^キか^キか^キか^キか^キか^キ
我^レ改^メ後^ニ入^リよ^リま^キる^ル申^スす^レ
か^キか^キか^キか^キか^キか^キか^キか^キ
未^レだ^ニ庭^ノを^シ推^シひ^ラま^キく^テ
縁^ノ乃^チ縁^ノ乃^チ縁^ノ乃^チ縁^ノ乃^チ縁^ノ乃^チ
か^キま^キも^テ他^ノ人^ノを^シか^キる^ルる^ルる^ルる^ル

唯今思ひ出せるの極の愛なたる二角仙
人ぞし清き者なりが シテカ 清きは是社二角の
中仙ありていづてく高きと凡中をば
業 ヲ子 此後人 ハ那 び ハ ち ハ 美 ハ 愛 ハ 官 ハ 女
乃 カタキ 秋 ハ 枝 ハ の ハ 貸 ハ 羅 ハ 縷 ハ け ハ ま ハ ぬ ハ ぐ ハ り ハ 只 ハ 人
とは交さぬま ハ び ハ ん ハ 是 ハ け ハ り ハ り ハ の ハ 人 ハ ぞ ハ ま
し ハ 酒 ハ も ハ ぞ ハ 早 ち ハ け ハ り ハ 申 ハ ぞ ハ く ハ 踏 ハ 迷 ハ 日

たる後人 ハ ぞ ハ ん ハ 後 ハ 乃 ハ け ハ り ハ ぞ ハ け ハ 慰 ハ 三 ハ 二
酒 ハ と ハ 持 ハ ぐ ハ ん ハ け ハ り ハ ぞ ハ け ハ り ハ 人
乃 ハ 也 ハ 仙 ハ 境 ハ 乃 ハ 松 ハ の ハ 枝 ハ 乃 ハ け ハ り ハ ぞ ハ け ハ り ハ 不
ま ハ け ハ け ハ 乃 ハ ぞ ハ け ハ り ハ ぞ ハ け ハ り ハ 不
老 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 世 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 酒 ハ を ハ 用 ハ ぐ ハ 事 ハ 乃 ハ 者
海 ハ 早 志 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志
と ハ 清 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志
と ハ 清 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志 ハ 乃 ハ 乃 ハ の ハ 志

て大地もひびきつらるる也 ありあま
や枝のびも人の情れ盡す碎伏たり
一其隙に龍神と録しめおき岩
屋の俄に鳴動するは行乃ゆきて有
からん 地三入上 いたちあるは角仙人入向り
まの心をまきつらるる酒は碎伏
て通力とうのまの 下 舟のむらりの程と

思ひなき 上 山風あらく吹落て
空より雲の岩屋も俄にゆるるもみ
え 下 磐石四角はゆき推きく 法龍
乃安の形もあがり 上 時仙人ねど
ろ 下 ありわたり 下 利剣とおのり立
向へ竜王の黄へ金乃甲冑をと帯
玉具乃所 下 なるもの 下 ありあま

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

大正三年六月拾五日印刷
 大正三年六月二拾八日發行



大阪府西成郡中津町大字下三番
 七十六番屋敷
 増補訂正
 相續者
 大喜多信秀

大阪府北區源藏町十番地
 發行者
 無印刷者
 富、永、久、世

大阪府西成郡中津町大字下三番
 七十六番屋敷
 發行所
 常磐會

88
187



大正三年六月二日
大正三年六月五日

終

